

令和3年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市介護老人保健施設やげん		
指定管理者	団体名	医療法人 章士会	
	代表者	三上 史雄	
	所在地	むつ市柳町一丁目8番22号	
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）		
指定管理業務の概要	介護サービス（介護老人保健施設）		

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収 入 合 計 (A)	139,400	129,937	△9,463
うち利用料金額	130,400	129,233	△1,167
うち指定管理料	0	0	0
支 出 合 計 (B)	139,400	140,643	1,243
うち人件費	108,000	110,792	2,792
収支差 (A-B)	0	△10,706	△10,706
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	年間計画額の収入合計には章士会からの繰入金8,400千円を見込んでいましたが、繰入をしなかったことから収入が減となり、支出においては、中途退職者への退職金支給があったため収支差△10,706千円となりました。 実績の未達原因は、入所者延べ数の年間計画未達によるものです。		

3. 施設利用の状況

単位：人

利用者数	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
	介護老人保健施設	9,950	9,717	△233
	延べ入所者数			
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有 [○] 無 [●] ） 提案箱、苦情受付窓口の設置、支援相談員による利用者とその家族との定期的な面談により、苦情や相談を収集しておりますが、苦情や提案等はありませんでした。				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出
なし	/	/	/

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：要改善）

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	—	—
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

ベッド利用率を前期 94%（利用延べ数 9,950人、1日あたり 27.3人）として目標設定し、施設運営の体制・体質強化と収支改善を図りたいと考えていましたが、計画達成率97.7%【利用率 91.8%、利用延べ数 9,717人 △233人、1日あたり 26.6人 △0.7人】と未達でしたが、前同比 105.4%、前同増減 +496人と収益改善に向けて尽力するという体質改善は着実に行われていると考えます。

また、職員の資質向上及び施設サービスの質の向上のための取組は、それぞれの課題を明確にしながら継続して行って参ります。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

令和3年度も、引き続き新型コロナウイルス感染症対策をとったうえでのサービスの継続が求められる中、適切なサービスの提供に努めていただいている。ベッド利用率は、上半期が計画値に達していなかったものの、下半期の利用率が高かったことから収入の増につながり、また、燃料費や物価が高騰する中、経費の節減に努め、経営改善に取り組んでいることがうかがえる。

今後も、質の高いサービスの維持と、医療機関併設の介護老人保健施設の利点を生かし、地域の介護拠点としての役割を果たすよう、効率的かつ計画的な施設運営を目指していただきたい。